※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究ａ	単位数	２単位	年次	１～４
使用教科書	精選　古典探究　（大修館書店）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典分野について学び、言語感覚を高めます。
古文や漢文が好きな人、興味のある人におすすめしています。
読解だけではなく、調べ学習や、意見を述べるなど、主体的に探究する姿勢が大切になります。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	ａ　知識・技能	ｂ　思考・判断・表現	ｃ　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 また、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などにについて理解している。	「読むこと」を中心に、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 また、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	作者のものの見方を理解し、自分の体験や経験に引き寄せて考えようとしている。 また、作中等から登場人物の心情をつかもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	説話 ［教材］ 宇治拾遺物語 十訓抄	a：語句の意味や用法を理解している。 b[読]：興味をもったことや疑問に感じたことについて，調べて発表したり議論したりしている。 c：古文の説話と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	随筆 ［教材］ 徒然草 方丈記	a：文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 c：作者の価値観を理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	物語 ［教材］ 伊勢物語	a：言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	随筆 ［教材］ 枕草子	a：我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら作品の価値について考察している。 c：宮中での生活について理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	物語 ［教材］ 源氏物語	a：我が国の文化の特質について理解を深めている。 b[読]：古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	日記 ［教材］ 土佐日記 更級日記 十六夜日記	a：文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[書]：様々な資料を調べ，その成果を発表したり報告書などにまとめたりしている。 c：日記文学について興味をもち、その特徴や役割について理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	故事・逸話 ［教材］ 知音 画竜点睛	a：文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：学習したことを普段の生活の中に生かそうとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察
	漢詩 ［教材］ 竹里館 峨眉山月歌	a：言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈する。 c：作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート	ワークシート 観察

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間
・書くこと　…　（　５　）時間
・読むこと　…　（　５５　）時間